



苫小牧市議会議員  
小山 征三

通信

『秋』号  
2013年10月

小山せいそう後援会

苫小牧市ときわ町1丁目19-23

TEL0144(67)8255

## 第12回定例会 9月10日の一般質問、答弁調整で空転も

第12回市議会定例会は9月5日から9月13日まで開かれ、議案26件、報告4件、陳情2件、諮問1件、要望意見書3件などの審議が行われました。

一般質問は19名が行い、私は10日の午前に登壇し4項目について質問しました。

### 新卒高校生の採用求める

市職員の採用については、新卒高校生の採用が昨年、今年と1名づつしか採用していないこと、さらに地元採用率が40%にとどまっていることから地元出身者の採用率の向上を求めました。

市長公約の「新卒高校生の雇用支援」の取り組みは高く評価しますが、これは民間企業に対して奨励金を出すなど民間での採用をうながしているだけなのです。市長公約を掲げるのであれば、市職員の採用に地元出身者枠を設けるべきと考えます。

- 1 政治姿勢  
(職員の採用について)
- 2 教育行政  
(市立中央図書館について)
- 3 防災対策  
(特別警報について)
- 4 消防行政  
(指揮隊について)



### ＝ 中央図書館の指定管理者導入 ＝

### 拙速な対応で不備が露呈



中央図書館への指定管理者制度の導入は、6月議会で「苫小牧市立図書館条例」の一部改正が可決され、図書館の運営を今後は市の直営から指定管理者も可能としたものです。しかし、現状では数々の未解決問題を抱えているにも関わらず市教委は、直ちに指定管理者の募集に踏み切りました。

今回、私の質問では募集事業者に配布した「業務仕様書」の不備事項を3点取り上げました。1点目は、個人情報保護を定めた「セキュリティ対策要領」が事業者に配布されていないこと。2点目は、施設で定めなければならない「防火管理者」の立場を明確に示していないことです。さらに3点目は、指定管理者が日常の業務を遂行するために用意した「業務マニュアル」にも数々の不備があることを指摘しました。

市教委の答弁は、個人情報保護を定めた「セキュリティ対策要領」は、事業者が決定しても配布しないが、選定委員会に説明すると全く理解できない答弁でした。また「防火管理者」は、当然、管理監督的な立場の者を選任しなければならないとの見解を示しましたが、現在、図書館の防火管理者は、嘱託員で対応しているという不適切な対応が明らかになりました。

